

言語活動の充実を図る国語科指導の実例①

－単元（教材）と言語活動との関連一覧表－

言語活動の充実を図るためには、どの単元で、どのような言語活動を生かした学習が考えられるか、「単元（教材）と言語活動との関連一覧表（例）」を作成するなどして検討し、年間指導計画に組み込んでいくことが大切である。

そのことで、計画的、意図的に言語活動を取り入れることができ、指導事項の習得や活用につながっていく。

【第3学年の例】鹿児島市立吉田南中学校の実践から

月	教材名	言語活動	内容
4	形	「もしも…」の話をつくる	主人公がもし、一命をとりとめていたら、その後どうなっていたか、続きの話を考えさせる。
5	俳句の世界	俳句の世界を表現する	俳句に描かれた情景を絵と文章にする。
6	平和を築く	「戦争と平和」について自分なりの定義を書く	筆者の定義を踏まえた上で「戦争」と「平和」について自分なりの定義を文章で書く。
9	メディアリテラシー	情報を再構成する	筆者の主張に沿って、新聞記事を意図的に再構成してみる。
10	初恋	物語を作る	詩に描かれている世界を理解した上で、更にふくらませ、短い物語文を作る。
	和歌の世界	和歌の解説者になる	自分で訳して解釈してその和歌についてみんなに説明する。
	おくのほそ道	手紙文を書く	教科書の部分について、旅での様子や感情を伝える松尾芭蕉から友達へ「手紙」を書く。
11	松と杉	比べ読みをする	「生物の多様性と環境」と比べて読み、更に深まった考えをまとめる。
12	猫	批評文を書く	各自のテーマに沿って批評文を書き、自分なりの読みで作品の主題を探る。
1	「ありがとう」と言わない重さ	説明文を書く	「ありがとうという日本人」という題名で説明文を書く。
2	故郷	関連図を作る	一人一人の人物像を捉え、絵や説明を添えた関連図を作ることで人物同士の関係を捉える。
	峠	群読をする	単声の意味をとらえた上で、グループ毎に群読方法を考えて発表する。

* 「読むこと」領域の教材を中心に作成